

友達の考えを知り、自分の考えを見つめ直すことのできる児童の育成

—自分の考えが可視化できるハートメーターを使った道徳の授業の工夫を通して—

特別研修員 道徳 萩原純子（小学校教諭）

児童の実態

- ☆自分の思いや考えに自信が持てず、友達との関わりが消極的になる。
- ☆自分の思いや考えはあるが、友達にうまく言葉で伝えられない。



可視化

手立て

- ①思いを表出して掲示するハートメーターの工夫
- ②ハートメーターを取り入れたワークシートの工夫

実践「もどらない本」

やくそくやきまりを守る C-(1) 公德心・規則の尊重



手立て①



ハートメーターを各自で動かし、それぞれの思いを表出する。

本がもどらなかったひさしくんは、いまどんな気持ちでしょうか。

各自が動かしたハートメーターを、黒板に一斉に掲示し、考えを分類する。



手立て②

ワークシートにハートメーターを書き込み、前段と後段での自分の考えの変容を捉える。



本がもどれば、やくそくは守れたといえるでしょうか。



ワークシートを三つ折りにしておき、後段で書いたハートメーターと前段のものを比較し、考えを見つめ直す。

さらに、実物投影機で映し出し、変容を捉え、道徳的価値の一般化にせまる。

S1: 洋平くんは貸してしまって申し訳ない。
S2: 二つの気持ちがいがりまじってる。
S3: ぼくは悪くない。
洋平くんが持っているのだからしょうがない。

知る

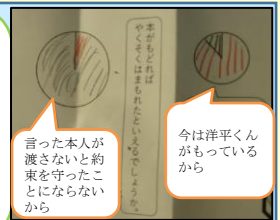
ぼくと同じ気持ちの子がいるんだ。

なるほど。

各自それぞれの思いを表出でき、友達の考えも知ることができた。



さっきは自分は悪くないって思っていたけど、「約束」は守れていたのかって聞かれると、うーん。本人が渡さないから約束は守れてないかな。



言った本人が渡さないと約束を守ったことにならないから

今は洋平くんが持っているから

深める

自分も「約束」って考えたらハートメーターが前と変わってるなあ。



友達の変容を知り、自己の変容と比べることができた。



友達の考えを知り、自分の考えを見つめ直すことのできる児童へ

成果



- ハートメーターを活用することで、一人一人の思いをスムーズに表出させることができた。
- 分類化・類型化により、友達の考えを知ることができた。
- ワークシートにハートメーターを2つ書いて比較できるようにしたことは、個人内の感情の変容が一目で捉えやすくなり、自分の考えを見つめ直すことにつながった。

課題

- 掲示されたハートメーターを「知る」段階から「深める」段階の活動に広げるためには、展開後段でのハートメーターの活用の視点を、はっきり伝える必要がある。
- 友達の意見を聞き、考えを見つめ直す時間をより充実させるためには、展開後段での道徳的価値の一般化につながる問いとその内容の精選をする必要がある。